

## 導入事例

PIT サービス

## 養命酒製造株式会社

<https://www.yomeishu.co.jp/>

# 負担の大きいキitting・代替機運用のアウトソーシング で作業負荷を大幅に軽減！最新技術の活用で利便性も向上



情報システム部  
情報システムグループ  
グループリーダー  
鎌史博氏

情報システム部門が担う役割は多岐にわたる。もともと少人数で構成されている部門のため業務負荷がかり、人員不足、リソース不足に悩む企業も多いのではないだろうか。

養命酒製造株式会社では、故障時の代替機発送、キittingを含めたPC調達・運用業務の負荷が大きく、課題を感じていた。業務改善のために「PITサービス」を導入したことで、課題はどのように改善されたのか。当時の状況や、導入の決め手、得られた効果について、情報システム部情報システムグループのグループリーダー 鎌史博氏、主任 鳴海京平氏、武田洋一氏に話を伺った。



情報システム部  
情報システムグループ  
主任  
鳴海京平氏

養命酒製造株式会社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」を経営理念とし、「薬用養命酒」「フルーツとハーブのお酒」などの商品展開、海外事業、通販事業、商業施設「くらすわ」など、お客様の暮らしに寄り添いながら健康をサポートするための事業に取り組んでいる。

同社の情報システム部は、主にITを活用した働き方改革の推進、IT基盤の維持・強化の役割を担う。従業員の業務の効率化・省力化や、労働生産性の向上を図るために、新たなシステムの企画・構築、既存システムの保守運用サポートを行っている。さらに今期からは、AIやRPAなどの最新技術の活用検討、DXの推進なども加わり、業務内容は多岐にわたる。

そのため、最初に業務計画を立て、各々（おのおの）の得意分野を生かして担当システムを決めて運用している。また、少人数体制のため、互いにサポートし合いながらだれもが対応できるよう業務の標準化を目指している。

しかし、全社計350台のPC調達・運用を含む各種業務を数名で行っているため、突発的な障害や問合せなどがあると、その対応に工数が割かれ、本来の業務に注

力できない状況だった。特にPC調達・運用は、初期展開作業に多くの工数が必要とされるほか、急な故障による代替機のセットアップ・発送作業に大きな負荷を感じていた。

当時の状況を鳴海氏はこう語る。「システム開発・設計・問い合わせなどの対応をしている中で、PCの不具合や故障があれば、業務を停止させないよう、復旧を優先しなければなりません。しかし、マスターデータの復元、アカウント設定、個別ソフトウェアのインストールなど、リカバリ作業には丸1～2日かかっていたので、業務の調整に苦労していました。初期展開作業は、人海戦術で行うにもリソースは限られていますから、休日にも出社し広い会議室にPCを並べ、1台ずつキitting作業を行っていました。（鳴海氏）」

そうしたなか、PC調達の支援先であるNECネクサソリューションズ株式会社を通じてPITサービスのことを知り、導入検討を行うようになる。

「代替機運用のなかでも、キittingがアウトソーシングできることは特に魅力でしたし、コストの平準化にもメリットを感じて、本格的に導入検討を始めました。PITサービスの導入により、PC故障時等の代替機運用の負荷軽減、利用者への代替機発送スピードの向上を期待していました。（鎌氏）」

## 導入の決め手はコストメリットとアウトソーシングサービス

コスト面や初期展開作業に大きな負荷がかかることから、リソース面のインパクトを避けるために、従前のPCでは、延長保守サービスや保守期限切れの機器を使用することも多々あったという。しかし、レンタル調達なら、レンタル期間満了後はイニシャルコストをかけずに新たな機種へ変更し、適切なPCライフサイクル管理を実現可能にする。さらに、一番の課題であった代替機運用に関しては、代替機のクローニングからキittingおよび発送、故障機の回収や修理、再セットアップまでアウト



情報システム部  
情報システムグループ  
武田洋一氏

トソースすることで、作業負荷を大幅に削減できる。

これらの特徴が PIT サービス導入の決め手になったと武田氏は語る。「N レンタル」のスキームにより、適切な PC ライフサイクル管理をしながらも、従前の買取調達よりコストメリットが出ると感じました。そして、初期展開作業や代替機運用の大部分をアウトソーシングすることで業務負荷を軽減できる。この 2 点が導入の決め手になりました。(武田氏)

## 代替機発送までにかかる日数を大幅に短縮！作業負荷を軽減し、本来の業務に注力

初期展開作業においては、キitting済 PC の配布とあわせて操作上の注意点や作業マニュアルを動画にまとめて利用者に周知した。その結果、利用者一人ひとりスムーズに作業実施してもらうことができた。操作方法や設定作業に関する問い合わせも想定より少なかったという。

では、課題であった PC 調達・運用業務にはどのような効果があったのだろうか。

「1 週間ほどかかっていた代替機発送日数は 3 日程度に短縮しました。マスターイメージを用意したことで、全員が共通して使うソフトウェアがインストールされた状態で届きます。キittingにかかる作業負担はほぼゼロになりました。翌日には利用者に代替機を発送し、すぐに使用していただけています。(鎌氏)

「もっとも効果が大きいと感ずるのは、PC 故障時等の代替機運用の負荷が軽減したことです。NEC キャピタルソリューション社のキittingセンターに弊社専用のネットワーク回線を引き、マスターイメージ化に対応していない共通ソフトウェアのインストールを含めたドメイン環境下での初期セットアップ作業も実施していただけるため、非常に助かっています。(武田氏)

急を要する場合は、すぐにセットアップ済みの代替機を発送し、あとから遠隔で個別ソフトウェアをインストールすることも可能なため、利便性も向上したという。

また、これまでは原因不明の PC 不具合や故障の調査・分析・復旧に時間を要していたが、その作業も不要になった。契約終了時の HDD データ消去や資産処理も依頼できる。

導入前に期待されていた、PC 故障時等の代替機運用の負荷軽減、利用者への代替機発送スピードの向上は実現され、業務負荷は大幅に軽減した。「作業負荷が大幅に軽減されたことで、期初に立てた業務計画に基づき、それを実行するための作業に集中できる環境になりました。(武田氏)

さらに、思いがけない効果もあった。「N レンタルの残価設定のおかげで PC スペックが全体的に向上したことや、ログイン認証の仕組みを更新したこともあり、利用者からの評判は好評です。これだけ多くの端末をレンタル利用することは初めての経験でしたので、利用者には機器の取り扱いには注意するように重ね重ね周知してきました。その甲斐もあり、周辺機器やその他の物品を含めて、モノを大切に利用者が増えたように感じています。(鳴海氏)

## データの一元管理も PC 調達依頼も「PIT Asset Manager」で楽にできる

PC の調達発注から契約管理などはすべて「PIT Asset Manager」で行うことができる。

「ポータル上で PC の調達依頼を簡単に行えることがとても便利だと感じました。Web 上の管理画面は直観的に操作できる使いやすい画面だと感

じています。弊社では定期的な入社人数がそれほど多くないため、いまのところあまり活用シーンはありませんが、今後、急な PC 調達の際などに有効活用していきたいと考えています。(武田氏)

各種機器のネットワーク情報は、既存の資産管理ソフトで管理されている。今後の構想として、既存システムとの連携や資産管理の効率化を検討中だという。

「従来の資産管理ソフトでは、有効になっている NIC の MAC アドレスしか取得できないため、外付けデバイスが外れているときは取得できない状態になります。PIT Asset Manager に登録されている MAC アドレスと既存のシステムを連携させることで、ネットワーク設定に活用することを検討しています。(鳴海氏)

## 顔認証でなりすましをガード。「NeoFace Monitor」でセキュアなログイン認証を実現

PIT サービス導入と同時に、NEC ネクサソリューションズ株式会社が提供する顔認証ソリューションを採用している。この顔認証ソリューションは、NEC が開発した顔認証 PC セキュリティソフトウェア「NeoFace Monitor」を使用している。NeoFace Monitor は、世界最高レベルの顔認証技術を採用し、高い認証精度を誇る。

NeoFace Monitor 導入前は、USB 接続の外付けカードリーダーを使用し、IC カードと PIN コードでログイン認証を行っていた。しかし、利用者からは IC カードやカードリーダーの携行、接触不良や故障頻度に関する不満の声が上がっており、ログイン認証に関する運用上の課題があった。さまざまな生体認証があるなかで、何が導入の決め手になったのだろうか。

「次期認証基盤として、生体認証の仕組みを比較検討しました。通常の指紋認証ですと、外付けの認証デバイスが必要です。指紋認証内蔵型の PC 端末は薄くて軽いものがあまりなく、端末の選択肢が狭まります。NeoFace Monitor なら、PC 内蔵カメラでの認証が可能ですし、マスクを装着していてもあまり精度が落ちずに認証が可能など、高い認証精度に魅力を感じて導入に至りました。(鎌氏)

実際に使用してみて、「なりすましを防げること」、「認証精度の高さとスピード」にメリットを感じているという。

「顔認証であれば、なりすましを防げます。より確実な本人認証が行える点からも、セキュリティの強化を実現できたと思います。また、IC カードを忘れた際のスペアカードの情報書き換えや管理作業も不要になり、業務負荷が軽減しました。(鳴海氏)

「私自身も毎日使用していますが、認証方法が簡単かつスムーズになり、ログインスピードも上がったと感じています。導入後は、従前のような認証に関する問い合わせもほぼなくなったことから、利用者の利便性は格段に向上していると思います。導入前に想定していたメリットよりも高い成果が出ていると感じています。(武田氏)

## アウトソーシングの範囲を広げて、PIT サービスのさらなる有効活用を目指す

情報システム部門では、さらなる業務効率化を目指し、PIT サービスの有効活用を検討している。最後に、今後の展望についておたずねした。

「今後も PIT サービスを最大限に有効活用し、これから迎える PC の更新作業もスムーズに行っていきたいと考えています。今後は、運用フェーズにおけるアウトソーシングの範囲を拡張していくことや、PC 以外のソフトウェア面でのサービス活用についてご相談できればと思っています。(鎌氏)

## NEC NECキャピタルソリューション

NECキャピタルソリューション株式会社 ICTアセットサービス営業部  
〒108-6219 東京都港区港南二丁目15-3 品川インターシティC棟(受付19階)  
[E-mail] pit-marketing@dm.necap.co.jp [URL] https://www.pit-navi.jp/  
[TEL] 03-6720-8381

※当インタビューは、新型コロナウイルス対策としてマスク着用かつ、ソーシャルディスタンス形式で行い、写真撮影のみマスクを外し短時間で実施いたしました。

本紙に掲載された社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。本紙に掲載された内容は、事例取材当時のものです。現在とは異なっている場合がありますのでご了承ください。詳細な製品内容、仕様等については、左記までお問合せ下さい。  
2021年12月作成  
© NEC Capital Solutions Limited 2021. All Rights Reserved.